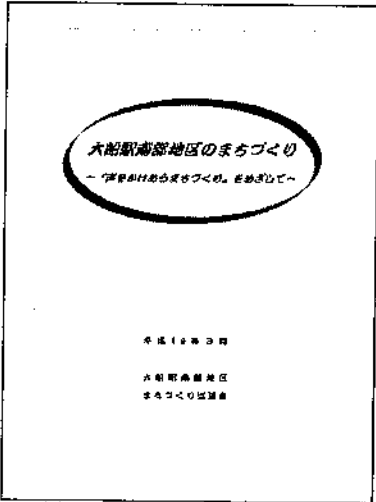


大船駅南部地区の まちづくりについて

大船駅南部地区まちづくり協議会・富士見町町内会

1 南部地区(富士見町)のまちづくりの概要



▲まちづくり方針「声を掛け合うまちづくり」

平成9年1月、「クランク形状の道路の解消」や「住環境の改善」を目指し、地区にまちづくり協議会が発足しました。アンケートや住民集会などを通じ、多くの意見の把握に努め、検討を重ね、平成10年1月、まちづくり方針をまとめました。

その後、この方針を基本に、「安全・快適な道路整備」「災害に強い安心な住環境づくり」に取り組み、まちづくりのルール化を目指してきましたが、お住まいの方の賛同が得られず、まちづくりのすすめ方について再考せざるを得なくなりました。

そこで、平成15年に、原点に立ち返り、地元の声を大切にして、『短期的に出来ることから実現する』、『住民主体のまちづくりを進める』方向に転換することとし、

- ① まちづくり協議会の下に、環境部会を設置
- ② タウンミーティング(=住民の話し合いの場)の実施

を決め、身近な課題の解決を通じ、多くの住民の方に、まちづくりに関心を持ってもらい、また参加してもらうことを目指しています。

2 南部地区(富士見町)のまちづくりの成果

ここ3年間、住民主体の取組みで、次のように少しずつまちづくりが実現しています。

(1) 通り抜け車両対策

子供たちなどの安全を守るため、町内の路地を通り抜ける車の対策を講じました。

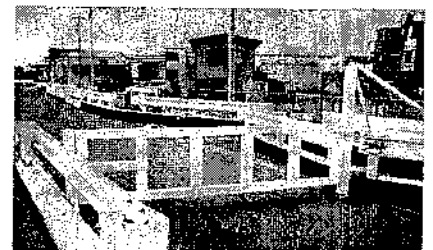
障害物を設置し、交通を遮断する交通実験を行いました。交通量は約4分の1に減り、この結果を評価し、新たにゲートが設置されました。



▲町内の路地を通り向ける車



▲実験風景

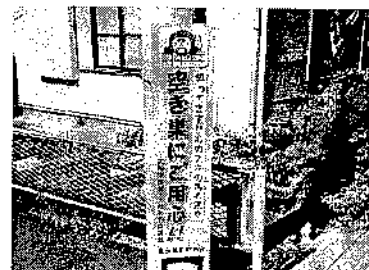


▲新しく設置されたゲート

(2) 防犯まちづくり

町内に防犯看板を設置し、さらに日頃からご近所同士で声を掛け合うことなどを実践することになりました。

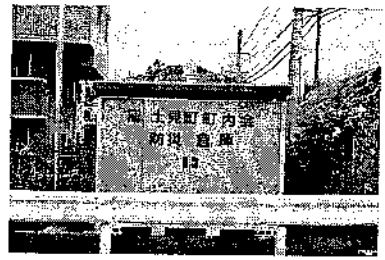
町内に設置した防犯看板 ▶



(3)防災資機材倉庫の充実

これまで防災倉庫は2箇所（ふじみ児童遊園と大船体育館駐車場）でしたが、充実を図るため横須賀線田園踏切の横に、3つ目の防災倉庫を新たに設置しました。

新設した防災倉庫 ▶



(4)横須賀線田園踏切付近の整備

横須賀線田園踏切南側の歩道を拡幅し、隅切りを設置しました。



(5)跨道橋南側植栽の整備

左記の隅切り脇にシンボルツリーを植え、花壇を作りました。



(6)田園踏切跨道橋トンネルの壁画

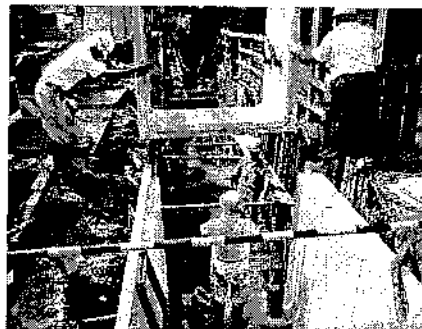
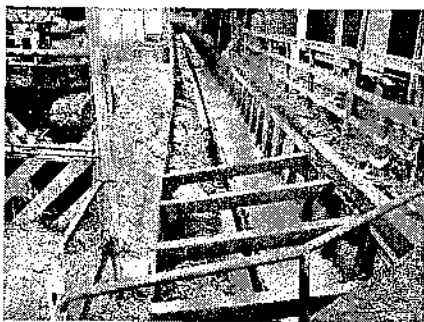
落書き防止にみんなで絵を描きました。明るく楽しい歩道となりました。

落書きの上に、子供たちが描いた壁画（富士見町のパワーを感じる！）▶



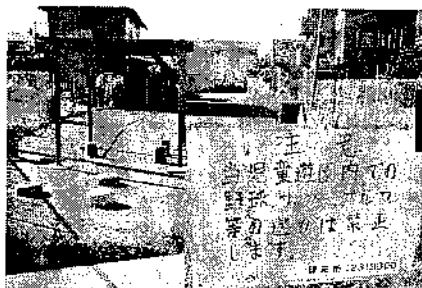
(7)台川上空での歩道整備

台川上空を利用した歩道整備が行われました。これにより大船駅や町内会館への行き来がとても便利で安全になりました。



(8)タイヤ公園の整備

ふじみ児童遊園（通称タイヤ公園）では、ボール遊びが禁止されていますが、公園利用のルールづくりに取り組み、下の掲示板の案がまとまりました。

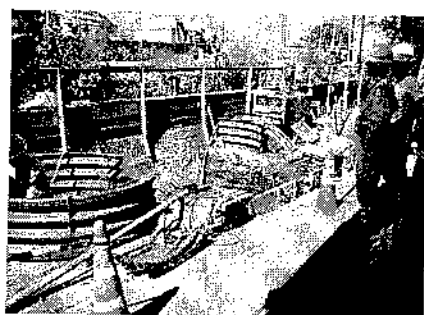


ふじみ児童遊園掲示板案

- ・ 遊具を大切にしよう。
- ・ 人に迷惑になるようなことはやめよう。
- ・ 危険な遊びはやめよう。
- ・ ボールは周りの人に注意しながら使おう。
- ・ 草花を大切にしよう。
- ・ ごみは持ち帰ろう。
- ・ 公園内に犬を連れてくるのはやめよう。

(9)私道での公共下水道の整備や舗装

富士見町の西側の私道では、公共下水道の工事も行い、道路舗装も行われ、大変に歩きやすくなりました。



▲私道の公共下水道の整備 (左) 整備前(未舗装)の私道の様子 (中)JR線路脇の側道の下水道工事 (右)整備後の私道の様子

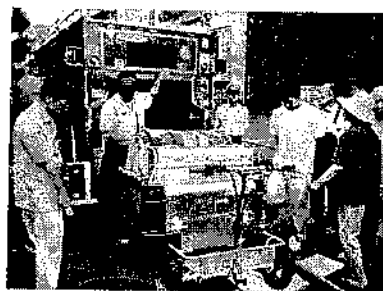
3 防災に強いまちづくりの取組み

富士見町は、建物が密集し、住宅と工場などが混在、道路が狭隘、水害があるなど防災上課題のある地区です。

まちづくり協議会では、阪神淡路大震災や、一昨年、この取組みの途中で起きた新潟県中越地震の教訓を踏まえ、災害に強いまちづくりを目指し、タウンミーティングで勉強を進めてきました。

(1)皆でまちを点検する

第6回タウンミーティングでは町内を歩き、現地の実態把握に努めるとともに、消防ポンプ車に来てもらい、富士見町で火災が発生した場合の消火シミュレーションを行いました。



狭い路地ではホースカーが活躍する ▶

(2)皆で課題や意見を出し合う



この現地調査の結果を踏まえ、3つのグループに分かれて、富士見町の現状と防災面からの問題点を「ワークショップ」の形でみんなで話し合いました。

◀ 防災について皆で話し合いました

* 話し合いによって出された意見をまとめた方策図は4面に掲載しています。

4 今後の取組みの進め方

ここ約2年間で、9回のタウンミーティングを開催し、これらの取組みに延べ200名以上の住民の方の参加を得てきました。

しかし、街をより良くしていくためには、もっと多くの人にまちづくりに関心を持ってもらい、たくさんの意見を聞いていく必要があると考え、「ソフト面の活動」を進めることにしました。

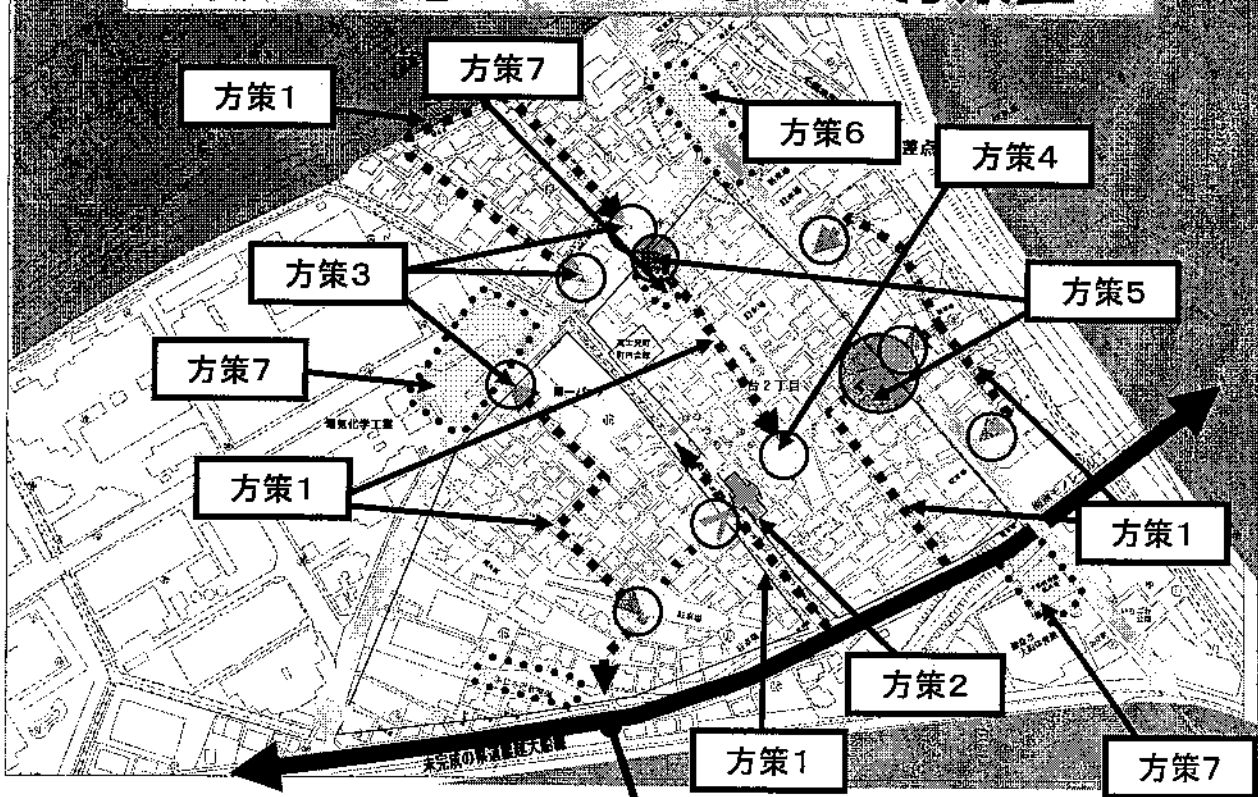
災害に強いまちを目指します！

タウンミーティングでの意見を踏まえ、まとめた「まちづくりの方策図」です。
 今後、まちづくり協議会（環境部会）で、さらに検討し、個々の整備の具体化を図っていきます。

no	内容
方策1	区域内の必要な道路を整備
方策2	通り抜けできないよう道路を遮断する
方策3	幹線道路との角に隅切りを整備(=見通しの確保)
方策4	東京ガス整圧所角隅切りを要望
方策5	狭い道路の電柱を移設
方策6	ホンダウイング前等の広場を避難場所として再整備

no	内容
方策7	駐車場等を有事の避難場所へ
方策8	街灯の位置などの点検
方策9	地域ぐるみで防犯に取り組んでいることをアピール
方策10	各家庭でのセンサーライトの取り付けを奨励
方策11	危険なブロック塀の生垣化を要請

全体の意見のまとめからの方策図



整備予定の腰越大船線(H26年度竣工目標)

* 白抜きが南部地区(富士見町)の区域です。